

矛

盾

事務局 埼玉大学理学部数学科 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

[dosokai@rimath.saitama-u.ac.jp](mailto:dosokai@rimath.saitama-u.ac.jp)

会誌編集委員会

## 同窓会定期総会 (第3回)開かれる

去る7月21日(土)に埼玉大学理学部2階第一会議室において、「埼玉大学数学科同窓会総会」が開かれた。数学科同窓会会長光道隆と数学科学科長長瀬正義氏より挨拶があった。ひきつづき議事に入った。まず会長より活動報告がなされた。会員相互間を結ぶメーリングリストを設置したが、残念ながらあまり活用されなかったようだとの報告があった。

次に会計報告がなされた。本来会計である丹下氏が報告するべきところ逝去されたとのことで、会長が代行した。先回の総会で会則を改定したが、平成19年から会費として理学部同窓会より5万円が一括納入されることとなった。また先回の総会を開く際に理学部同窓会から補助を頂いた。それらが収入の大半となっているとの報告があった。また支出は会報作成費と発送費及び総会案内状の郵送料が占めているとの報告後、引き続き監査報告があった。

規約の改訂の提案が会長からあった。同窓会の会計が管理する通帳を作成するために規約上に所在地の明記が必要となりそれに関連した規約の改訂である。



新役員を選出があった。会長・副会長は若返り、新会長には理工学部第3期卒業の前田氏、副会長に大塚氏・池田氏を選出し、理事は2名の新理事を加え、残りは再選された。光氏は監事に選出された。

## 今後の活動方針

第一に前回の活動方針のメーリングリストの活用を更にすすめること。第二に先輩、後輩、先生方との交流を深める場としての同窓会を機能させていくこと。第三に現役の高校生に対して、働きかけていく企画を持つこと。などが提案され了承された。

## 盛会な懇親会

第3回総会に引き続き、午後5時より、同学生会館2階旧「きやら亭」跡にて懇親会が開催された。

来賓として、総会に引き続き数学科学科長長瀬正義先生や埼玉大学名誉教授の佐藤祐吉先生他多数の先生方にも参加いただき、楽しいひと時を過ごすことができた。参加者は約40名であった。次回は4年後の2016年に再開を期して、2時間の懇親会を開じた。ある期はその後、2次会を行なったようである。



## 来賓者一覧 (敬称略)

佐藤祐吉 (埼玉大学名誉教授), 奥村正文 (同左), 辻岡邦夫 (同左), 水谷忠良 (同左), 柳井久江 (非常勤講師), 長瀬正義 (教授, 学科長)

## 題字について

「矛盾」の題字は、旧文理学部白石早出雄教授(故人)の書です。前総会で「矛盾」と名付けられた歴史が明らかになりました。当時のテキストをお持ちの方は事務局にお知らせ願います。

## 埼玉大学理学部数学科同窓会規約

### 第1章 総則

第1条 (名称と所在地) 本会は「埼玉大学理学部数学科同窓会」と称する。事務局は以下の住所に置く。

338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学理学部数学科内 数学科同窓会

TEL048-858-3351 Fax048-858-3699

第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため名簿の作成、その他必要な事業を行う。

### 第2章 会員

第4条 (会員) 本会は正会員、特別会員、賛助会員をもって構成する。

1.正会員は埼玉大学文理学部理学科数学専攻、理工、理の各学部数学科および同大学院理学、理工学研究科の数学専攻に在籍した者。

2.特別会員は、同数学科、数学専攻の専任の現教員、および専任の教員であった者。ただし正会員である者は除く。

3.賛助会員は、第2条の目的に賛同し入会を希望し、理事会の承認を得た者。

### 第3章 役員

第5条 (役員) 本会に下記の役員を置く。

1.会長 1名 2.副会長 2名

3.理事 各学次若干名 4.監事 2名

第6条 (選出) 役員を選出は、次のとおりとする。

1.会長および副会長は、総会において会員の互選により正会員の中から選出する。

2.理事は、総会において会員の互選により正会員の中から選出する。理事は、原則として各卒業年次ごとに少なくとも1名選出する。

3.監事は、総会において会員の互選により正会員の中から選出する。

第7条 (任期) 役員任期は4年とし、再任を妨げない。

第8条 (任務) 役員任務は、次のとおりとする。

1.会長は、本会を代表する。副会長は会長を補佐し、

会長に支障があるとき、これを代行する。

2.理事は、理事会を構成し、会務の重要事項を審議する。

3.監事は、本会資産の状況と会計を監査し、総会で承認を受けるものとする。

### 第4章 会議

第9条 (会議) 本会に次の会議を置く。

1.総会 2.理事会

第10条 (総会) 1.総会は、全会員で構成され、定時総会および臨時総会を置く。

2.定時総会は4年に1回、会長が招集する。臨時総会は会長が認めたとき招集する。

3.総会は本会の総意を決定する。

4.総会は、理事会から前回以後の活動の報告を受けなければならない。

5.総会は、監事から前回以後の監査の報告を受けなければならない。

第11条 (理事会) 1.理事会は、会長、副会長、理事で構成される。

2.理事会の招集は会長が行う。

3.理事会は会員名簿の作成、管理、事業計画、執行等の業務を行う。

4.理事会は特別な事業を行うために委員会を設けることができる。

第12条 (議決) 各会議において議決は出席者の過半数の同意による。

### 第5章 会計

第13条 (経費) 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入による。

第14条 (会費) 正会員および賛助会員は会費を納入する。会費の額、納入時期は総会で決定する。

第15条 (報告) 会計は監事の監査を経て、総会において報告されねばならない。

### 第6章 事務局

第16条 (事務局) 本会は事務局を埼玉大学理学部数学科に置く。

第17条 (会員の消息) 会員は、その氏名、住所、職業、勤務先を変更したときは、事務局に連絡するものとする。

### 第7章 付則

第18条 (規約成立) 本規約の成立は平成16年7月5日とする。

第19条 (規約改正) 本規約の改正は、総会で行う。

# 新会長挨拶

理工学部第3期生 前田吉昭



この度、埼玉大学数学科同窓会会長になりました。今まで献身的な努力をされ、この同窓会を発展させてきた光道隆さんには感謝申し上げます。埼玉大学で事務局をお世話している櫻井力先生や

同窓会を運営してくださった役員の方々にも、大変感謝申し上げます。光前会長からバトンタッチをして、新しい役員の方々とともに、数学科同窓会をより発展させていただくことができると考えております。

私は、理工学部第3期の卒業生です。第1期には、前会長の光さんがおられます。光さんを中心に、第1期から3期、4期というのは、数学科ができたばかりの時代で、縦と横のつながりも多く、今でも先生方を含めて交流が続いております。私達の時は、大学紛争の最中であり、授業もあまり行なわれなかったときです。入学した直後はまだ旧埼玉大学キャンパス(北浦和駅前)にあった数学科の学生用居室(これは多分、文理学部に数学の学生がおいでになっていたときの部屋だともいいます)があり、先輩、同級生、後輩と数学のセミナーをやったり、麻雀、トランプにも興じたりしました。またよくサッカーもやり、大学の対抗試合にも参加したことを覚えております。大学紛争が盛んになり、ストライキに突入しても、かなりの学生が大学に来ておりました。数学科でも、大学側との団交とは別に、様々な意見を持つ学生達を含めて先生方を含めた激論もやりました。こんな時でも、先生方は私達に数学を教えてください、感謝する次第です。

卒業から既に、40年が過ぎております。大学での同期の仲間や先生方は、いつお会いしても懐かしいものです。いつまでもこの仲間達と楽しく過ごす時間を持っていたいと思っています。

同窓会に伺って埼玉大学のキャンパスを回ってみると、当時はまだ建物がまばらで、だだっ広いところであったのが、緑も濃く、大学のキャンパスらしい趣もでてきています。これからは埼玉大学が発展していくことをお祈りするとともに、ぜひ数学科の同窓会が、卒業生の絆を強くすることができればと思っております。

## 規約に伴う付帯決議

- 1) 総会は4年ごとに開催する。
- 2) 同窓会の維持、運営のために会費を集める。  
新規卒業生である正会員は卒業時に6千円を納入し、終身会員となる。  
既卒業生は今回の寄付金を会費に当て、4年ごとに2千円を納入し、合計6千円に達した時点で終身会員となる。  
2007年度以降入学したものは入学時の理学部同窓会費を納入し、終身会員となる。ただし、卒業までに理学部同窓会費を納入しなかったものは既卒業生と同様とする。
- 3) 同窓会は会報を発行し、会員に配布する。会報の名称を「矛盾」とする。会報の発行時期は総会后、その他とする。
- 4) 現理事以外に広く理事を募る。新理事の選任は理事会に一任する  
以上、下線の追加訂正が提案され承認された

## 役員

新会長・新副会長と理事再任に加え、新たに数名の理事の新旧交代をお願いして承認を得た。

会長 前田吉昭(理工第3期)

副会長

大塚富美子(理第4期)、池田 薫(理第6期)

理事

谷川正樹(理工第4期)、鳥井新人(理第1期)、  
高橋泰綱(理第4期)、川浦美佐子(理第6期)、  
渡辺祐子(理第6期)、後藤 亨(理第7期)、  
中山 功(理第17期)、山口恵史(理第22期)、  
水野将司(理第27期)、根岸純子(理第29期)

監事

光 道隆(理工第1期)、盛岡光雄(理工第4期)

(会計)

中山 功(理第17期)、水野将司(理第27期)

(事務局) 櫻井 力(埼玉大学理学部  
数学科准教授)

## 退任の挨拶

### 前同窓会会長 光 道隆

北浦和駅から歩いてすぐの所にあった校舎で高木貞治著「解析概論」を使って本の読み方を熱心に指導くださった先輩たちの姿が懐かしく思い浮かびました。数学科にはこのように後輩を大事にする先輩を慕うという伝統があったのです。

国立大学の独立法人化にともなって、各大学で同窓会を組織しようとの機運となり、埼玉大学でも各学科に同窓会を作るように働きかけがあったようです。大学からの要請で作ることになったとはいえ、同窓生の親睦の場となる同窓会であってほしいと思いました。ゼロからの出発でしたが、理事になってくださった方々の献身的な努力のおかげで、なんとか形は作ることができました。

会長をしておりました間で一番うれしかったのは、同窓会ができたおかげで、懐かしい人たちと会うことができたとの年賀状を何人かの人からいただいたことです。ぜひ、皆さん同窓会を利用して、同じ学年の仲間たち、先輩たちとの親睦を深めてください。

新しい会長の前田さんは大変有能な方ですので、形に息吹を吹き込んで、同窓会をよりよく運営してくださいと、期待しております。

# 特別寄稿

## 思いつくまま

### 埼玉大学名誉教授 水谷 忠良

34年の長きにわたって勤めさせていただいた埼玉大学を2010年3月に退職いたしました。これほどの歳月を経ると就任当初のころと、退職のころとでは30歳台だった青年も年を重ねて高齢化するのとは当然としても、数学科はもちろんのこと、大学をとりまく社会の状況や、研究・教育の環境も大きく変化しました。いろいろな側面から、そのような変化を見ることができるでしょうが、e-mailを中心とする通信や、文書作成の手段

の変化は何と云っても、劇的なものの一つでしょう。正確な記憶ではありませんが、1980年前後では、期末試験の試験問題や、会議の討議資料なども手書きのもの割合が多かったのではないのでしょうか。1990年の前後から次第にe-mailが使われるようになり、文書も、一太郎やWordなどのコンピューターのテキストエディターが使われるようになりました。1993年の秋に葉層構造を中心とする研究分野の国際会議を東京で主催しましたが、現在ほど研究費の使用も自由ではなかったですし、容量の小さなパソコンで何とかe-mailを使い、TeXで会議録を編集したことを思い出します。

34年間の間には、学部4年生のセミナーで私が担当した学生の数も百人を超える人数になっています。ある時期に、学生からの要望に沿う形で、卒業する4年時のセミナー学生と卒業した学生・院生の合同の「追い出しコンパ」が始まりました。会の名称は「水谷会」といいますが、ときには遠方からの参加者を交えて、縦のつながりの交流もかねて長きにわたり行われてきました。これからも何らかの形で続けていこうという有志の主催で昨年も十数名が集まり、懇親会が行われたところです。このような会の開催の連絡には、できるだけアップデートした連絡先を記した名簿等がほしいところですが、「水谷会」では、これまでの記録をもとに年賀状などの情報をもとに、内容を更新しながら何とか運用してきました。また、私自身も高校の同窓会、大学の同窓会などの連絡を受けたり、逆に連絡したりする機会がありますが、同窓会において名簿を充実させ会員の連絡先を共有することは、同窓会そのものの活動を充実させることに直結していると感じます。ちなみに、私の高校の同級会には「名誉幹事」ならぬ「名簿幹事」がいて孤軍奮闘、何十年も頑張って会を盛り上げています。

「数学科同窓会」の会報に何か一言書くように、と言われて思いつくまま、とりとめのないことを書いてしまいました。なにはともあれ、これからも「数学科同窓会」が前田新会長のもと、一層の発展をされることを心より願っています。

2012年9月3日

# 新役員になって

## 理学部第4期生 大塚富美子

5月末の土曜日にのんびりしておりましたら、夜の10時過ぎだったでしょうか、突然電話のベルが鳴りました。今頃何かしらと思いましたが、卒研ゼミ数年先輩の鳥井さんからのお電話で、同窓会副会長就任の依頼でした。会長は慶応義塾大学の前田先生に引き受けていただいたということで、前田先生と水谷先生からも「いいのでは」と推薦されたということでした。

水谷先生は私の卒研の指導教官です。数年前に定年とされましたが、研究会や学会では相変わらずのお元気なお姿を拝見しております。実は、当時卒業後の進路は高校教員が多く大学院進学は少なかったのですが、私は他大学の大学院に合格できたら進学を考え運良く合格、現在茨城大学に勤めております。そのおかげで、水谷先生とお会いするだけでなく、埼玉大学が整備されたのを拝見する機会もありました。前田先生は同じ幾何分野で活躍されている先生ですが、奥村先生の還暦お祝いのときに同窓なのだと知り驚きました。お二方のお名前を出されますとお断りにくく、お引き受けすることとなった次第です。ですが、住まいは勤務地の水戸ですのちょっと遠方になりますし、結局同窓会役員として何も貢献できない状態で申し訳なく思っています。7月21日開催の「埼玉大学数学科同窓会」にも参加できず残念でした。

私が入学した頃、北浦和駅前の「けやき」という茶店が数学科の学生のたまり場だと聞いて、帰りがけにみんなで通ったことを懐かしく思い起こします。数学の話より、トランプで遊んでいたように思いますが。同期の方々とも久しくお会いしていませんが、これを機会に旧交を温め、懐旧談に花を咲かせたいものです。数学科同窓会が益々活発なものとなって、旧友との邂逅の場をいつまでも持ち続けられるよう願っています。微力ながら少しでもお役に立てれば幸いです。よろしく願い申し上げます。

## 理学部第27期生 水野 将司

この度、会計役を務めることになりました、理学部第27期卒業の水野と申します。微力ではありますが、全力で頑張りますのでよろしく願いいたします。

2005年3月に埼玉大を卒業したあと、東北大学大学院に進学し、一昨年の3月まで在籍しておりました。昨年度は北海道大学で研究員、本年度から日本大学理工学部で助教に着任し、埼玉大とは違う私大の環境での教員一年目を右往左往しつつ、偏微分方程式などの解析学を研究しております。

何を書こうか困ってしまったので、会計役の初仕事である、どの銀行にお金を預けるかを調べていて、はじめて知ったことを書いてみたいと思います。同窓会の会報からかけ離れていることをご容赦ください。

会計の中山さんと同窓会のお金をどの銀行で管理しようかということになり、インターネットで残高照会ができる銀行を探していました。最近では、多くの銀行でインターネット取引に対応していて、世の中便利になったものだと思っていました。選択肢がありすぎて困ったなと考えていたときにふと、埼玉大の授業料は信用金庫に振り込んでいたことを思い出し、「銀行」と「信用金庫」はどう違うのかが気になってしまい、仕事そっちのけで調べてしまいました。簡単にいうと、銀行は行員の利益を目的とするのに対して、信用金庫は地域社会の発展に寄与することを目的とするそうです。ちなみにゆうちょは貯金、銀行は預金といいますが、これも郵便貯金がもともと、国民に貯金を奨励して国家の発展のために活用することが目的だったからだそうです。預金だと「お金を預ける」ということに対して、貯金だと「お金を貯める」ということで、国民の理解が得やすかったからかもしれません。

こういうことを調べると、とても楽しいのですが、本業の研究が進まなくて困ることもしばしば。パソコンの電源を切ることが、研究環境向上につながると思う今日この頃です。改めてよろしく願いいたします。

# 近況報告

総会の出欠票に書かれた通信欄の内容を順不同で  
列挙いたしました。ご協力ありがとうございました。  
紙面の関係で一部割愛させていただきました。

## 文理学部卒業生

- **今野 倅 (33年卒)** 昨年7月オートバイによる交通事故に見舞われ、3ヶ月半入院しました。その後、幸い何とか日常生活は順調に回復してきましたが、体力の急激な衰えはさげられません。しかも4年に1度の数学科同窓会に出席を検討してきましたが、やはり無理はできず止むを得ず残念ですが出席を諦めざるを得ませんでした。皆様によろしく。
- **大村佐登 (30年卒)** 同窓会の会長様いろいろとお忙しい中、御企画頂きましてありがとうございました。出席したいのですが、ちょっと遠方ですのと、帰りが夜分になりますと、なかなか掛ける勇気がもてません。(この頃、渋谷あたりまでも出掛けると疲れてしましまして…)折角の同窓会ですが、申しわけありませんが…。みな様によろしく。
- **川野克己 (32年卒)** 現在、東京都退職公務員連盟の副会長として活動いたしております。会が重なってしまい申し訳ないですが。母校の同窓会の盛会を心より祈り上げます。
- **二谷隆太郎 (34年卒)** もっぱら反・脱原発や護憲の講座づくりをしています。
- **久保田 秀三郎 (38年卒)** 案内状ありがとうございました。体力がおとろえ、病気の治療中なので欠席します。
- **藤井 くに江 (38年卒)** 最近になって伊藤 (旧・浅井) 洋子さんと交流をしています。櫛田 (旧・五島) 嗟記さんは亡くなりました。会いたかったのに本当に残念です。
- **大沼正彦 (39年卒)** 当日、所用があり、残念ながら欠席させていただきます。7年間前に39年勤めた研究所を退職してから毎日が日曜日の生活を送っています。古希を前に、最

近は自分の生活のペースがまわりのペースに比べ、徐々に遅くなっていくのを感じております。

- **八藤後 正幸 (39年卒)** 各身体機能は年齢になり衰えていますが医者には歯科以外には世話になることなく元気に過ごしています。S. 40年3月卒業以来、大学数学科には没交渉を通して着ましたが、先輩・同期の諸兄にお会いする機会もあるいは最後かもと思うこの頃です。
- **奥村 伊佐夫 (41年卒)** リタイヤー後10年を過ぎ、体調を気にして日々やっています。御盛会を祈念申し上げます。
- **三橋文雪 (41年卒)** 38年入学の文理学部理学科数学専攻は10人でした。その人たちに会えたらいいなと思いながら参加いたします。
- **岩崎史郎 (42年卒)** 5年程前に一橋大学を定年退職し、現在は非常勤講師として、東京女子大学に週1度行っています。

## 理工学部卒業生

- **佐藤義隆 (理工2期)** シリアに桜を植えました。昨年3月に100本を、ダマスカスやアレppoの大学や公園に植樹し、3年間で千本の苗木の移植の予定でしたが、シリアの国内情勢が不安定なため、落ち着くまでしばらく休止です。さくらの植樹を通して、日本とオリエント文化の交流をするのが目的です。
- **金子昭彦 (理工3期)** 7月13日で65歳になります。現在清掃の仕事をしておりますが、当面1年の継続勤務が決まりました。健康の面でももう少しの間仕事を続けようとおもっています。
- **市掘誠治 (理工6期) 市堀明 (理工10期)** 二人ともアラ還ですが、なんとか元気にやっております。お互いに親の介護が必要な年代で、やがて自分たちも辿る道と、いたわり合って(笑) 過ごしております。ご盛会でありますように。
- **北川良三 (理工8期)** 当方、人財育成とPMのコンサルタント会社を起業して8年と

なります。還暦まであと1年をきりました。今は、少しでも社会貢献に繋がればと思ひ、可能範囲内で教育に絡めた執筆や研修などボランティア活動に近いことを行なっています。1976年卒業の同期の有志とは年1回の懇親会を継続しています。そちらの常連にも当同窓会の案内を出させていただきました。当同窓会の更なる発展を祈念してやみません。

- **広瀬薫(理工8期)** 現在は東京都立広尾高等学校に勤務しておりますが、今年還暦を迎え、来年4月からは再任用で勤務する予定です。今は埼玉大学の近くに住んでいますが、21日は残念ですが欠席します。墨田川高校で受け持った卒業生が、埼玉大学数学科の大学院2年に在籍しています。
- **伊藤光一(理工10期)** 今年は還暦を迎え来年には定年を迎えることとなりました。青春の夢に燃えて学業にいそしんだ頃が大変懐かしく思い出せます。今でもサイエンスの香りがするものには強く惹かれ、中でも最近は、ダークエネルギーとか余次元とかに強く興味を持っています。では、皆様のご活躍を心からお祈りいたします。
- **野口誠一(理工10期)** 私は卒業後「第百生命→安田火災(現損保ジャパン)→コンサルティング会社」と32年間サラリーマン生活を経て、現在は個人のコンサルタントとして活動しております。職種はアクチュアリーと言いまして、保険数理を扱っております。
- **酒井利博(理工11期)** 私は、昭和54年(1978年)3月に卒業し、昭和55年(1980年)4月から3年間埼玉県立和光高等学校で勤務しました。その後、出身地新潟県に帰り、昭和58年(1983年)4月～勤務を始め、今年で新潟県教諭として29年目勤務(新潟県6校目)しています。現在、大雪とスキーで有名な妙高市にある総合学科の新井高等学校(1年4クラス規模)で数学を教えています。昨年は、体調を崩し、胃の手術(胃ガン)を経験しました。浪人中の長男が、東京の私立大学に入学すれば、埼玉大学に行く機会もあるかと思ひます。

## 理学部卒業生

- **玉岡正樹(理1期)** 幹事さんお疲れ様です。現在、埼玉大学の近くの特別支援学校(昔の養護学校)に勤務しています。残念ながら都合が合わずに、欠席させていただきます。
- **白井光昭(理2期)** 私は卒業後、神奈川県の高校で数学の教員として29年間働いてきたのですが、昨年、早期退職をして沖縄でコーヒー豆の焙煎販売と養蜂をしています。沖縄の今帰仁と言うところでのんびりとミツバチを飼い、ハチミツをしぼり、珈琲豆の焙煎販売をしています。
- **梅川英範(理4期)** 新人より、NECソフトと言うSIベンダーに勤め、色んな経験を経て54才になってしまいました。折からの電機業界の不況で、貧乏暇なしの状況です。ERPという特殊な市場を長く経験したので数学とは無縁でしたが、何とか生活しています。あまりマメにやっていませんがFACEBOOKを始めたのでご興味あれば見てください。
- **田端浩幸(理4期)** 埼玉県立児玉白楊高等学校で8年目となりました。10年間数学の教員をやり…、その後転科し、家庭科を教えて17年目となってしまいました。
- **島田勝彦(理8期)** 勤務先埼玉県立浦和第一女子高等学校定時制。年々定時性には、手のかかる大変な生徒が増えてきたため、女子ばかりというのに疲れます。ボランティアで行なっているボート大会の審判を20から22日まで泊り込みで頼まれてしまったため、参加できません。皆様によくお伝えください。
- **森近和樹(理33期)** 就職が決まらずこれからどうしたものか考え中です。フハハ。

## 物故者一覧(没年月)

- 吉澤金三(2008年7月)
- 拝島武保(2010年1月)
- 藤井千聡(2010年1月)
- 櫛田嵯記(2010年6月)
- 田島勲(2010年7月)
- 丹下大輔(2010年11月)
- 太田昌也(2011年1月)

# 数学科近況報告

## ■ 佐藤祐吉名誉教授の秋の叙勲受章

佐藤祐吉名誉教授が平成 22 年秋の叙勲にて瑞宝小綬章を受章されました。

## ■ 博士号取得者

・石原海 氏

2009 年 3 月 理学博士

・Alwaleed Kamel Abdel-Al Ibrahim 氏

2010 年 3 月 学術博士

・中川和重 氏

2010 年 3 月 理学博士

・Mohamed Ahmed Hassan Ali Farahat 氏

2011 年 3 月 学術博士

・長谷川大 氏

2012 年 3 月 理学博士

## ■ 教員の異動・退職

・水谷忠良 教授

2008 年度-2009 年度 本学大学院理工学研究科長

2010 年 3 月 退職

・柳井久江 講師

2011 年 3 月 退職

・渡辺究 助教

2009 年 3 月 早稲田大学大学院基幹理工学研究科修了(理学博士)

2010 年-2012 年 日本学術振興会特別研究員(早稲田大学・東京大学)を経て、

2012 年 4 月 本学数学科に助教として着任

・小池茂昭 教授

2012 年 4 月 東北大学大学院理学研究科に転出

・太田雅人 准教授

2012 年 4 月 東京理科大学理学部第一部に転出

## ■ 事務の異動・退職

・根岸純子さん

2009 年 3 月 退職

・折茂明子さん

2009 年 4 月 着任

・渡邊ミヨイさん

2011 年 3 月 退職

・浅岡那美さん

2011 年 4 月 着任

## ■ 酒井先生と阪本先生の最終講義のお知らせ

2013 年 3 月をもって、酒井文雄教授と阪本邦夫教授が退職されます。

両先生の最終講義が 3 月 18 日に予定されております。近づきましたら詳しい日程をご案内しますので、ご出席いただけましたら幸いです。

# 会計報告

## 1.収入の部

項目	金額	備考
繰越金	35,700 円	前年度より
会費	13,000 円	3名分
	200,000 円	5万×4年分 (理学部同窓会より)
補助	100,000 円	理学部同窓会より
寄付	70,000 円	第2回総会の際 (数学科教室等)
	32,770 円	懇親会の残金
合計	451,470 円	

## 2.支出の部

項目	金額	備考
印刷費	39,270 円	会報「矛盾」2号作成費 (コピー代)
通信費	67,200 円	会報発送費(切手代)
	45,000 円	総会案内発送費(はがき代)
会議費	10,000 円	理事会の茶菓子代
合計	161,470 円	

## 3.収支決算

総収入	451,470 円
総支出	161,470 円
残金(次年度へ繰越)	290,000 円

会計期間 2008 年 7 月 1 日～2012 年 6 月 30 日

# 編集後記

従来でしたら、10月に発行すべきところ、大変遅くなり、ご迷惑・ご心配をおかけいたしました。

私事ながら、2012年は、同窓会の準備のほか、教員免許更新講習でも埼大に通い、学生の頃に戻ったかのようなひとときを過ごせました。

次回同窓会は、2016年の夏に開催予定です。

今回ご参加いただけなかった皆さんも、埼大まで足を運んでみませんか。心よりお待ちしております。

(山口)